

ピアノ調律師の仕事は調律だけじゃない！

『整調』取材レポート

ピアノ調律師科1年 諸岡南美 水野有優 森萌々香



『整調』とは？

「弾いているのに音が鳴らない・・・」や
「鍵盤が重く感じるから軽くしたいなあ」など
と思ったことはありませんか？

そんな違和感や不快感がある時に行う作業を『整調』と言います。
主に、ピアノの様々な部品が正しく動くように調整したり、タッチ
(引き心地)を整えたりします。

『整調』にはたくさんの作業があるため、クラスの多くの人が「楽しい！」と言っていた『鍵盤ならし』について紹介します！

鍵盤ならし

鍵盤の高さを基準寸法に均一に揃える作業です。
高さを揃えることで、音色のバランスも整える

ことができるようになります。鍵盤の下にあるバランスペーパーパンチングと呼ばれる薄い紙の枚数や種類を変えて高さを揃えます。見た目はもちろん重要ですが、引き心地にも関わってきます。



鍵盤の高さと水平を揃え、スムーズな動きにして、弾きやすいタッチを作っています。



定規が当たる範囲の両端の鍵盤を基準寸法通りの高さにします。
左は白鍵、右は黒鍵の高さを測っています。集中を維持して取り組みます。

定規を当てて、基準寸法より高い鍵盤や低い鍵盤を探しています。

目線が鍵盤と一直線になるように見ることがポイントです！



バランスペーパーパンチング

この下にバランスペーパーパンチングを入れ、高さ調整！

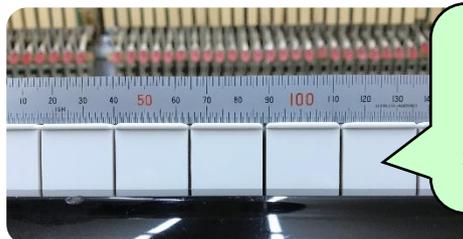


一番薄いもので 0.04mm !
一番厚くても 0.30mm しかありません！
とても繊細な調整となります。



★作業時に注意していること★

- ◎手の水分や脂分によりバランスペーパーパンチングの厚みが変わるため、極力ピンセットを使用する！
- ◎素早く作業を行うために、鍵盤は完全に外さない！



少し極端ですが、ガタガタな鍵盤もきれいに揃います！

クラスのみんなに聞いてみた！

Q1：『鍵盤ならし』の魅力は何ですか？

0.数mmの高さを変えるという作業は本当に繊細な作業です。そのため、ピアノ一台をしっかりと仕上げるためには時間がかかりますが、きれいに揃ったときの達成感があります！

Q2：『整調』の授業の魅力をお教え！

普通なら触れないようなピアノの内部の部品に触れることができ、楽しいです。また、『整調』の授業を通して、ピアノの仕組みや構造が理解できるため、様々な作業を深めることができます！

学んだこと

『整調』に正確さは大切ですが、素早く作業をすることも大切です。そのため、休み時間や放課後に友達同士でアドバイスをし合って練習している姿が多くありました。『整調』の重要性やピアノ調律科の魅力が再認識することができて良かったです。

